

「この人 69」

都吐夢 74歳 千葉県

編集部 滑稽俳句を始められたのは？

都吐夢 在職中に職場の俳句会に誘われて参加しました。それ以来、二十年ほどになります。元々「俳諧」が好きで、句を詠むとその内の何句かは自然にそういった傾向のものになります。

編集部 滑稽俳句の魅力は？

都吐夢 取り澄ましたもの、堅いもの、当たり前のものほど視点を変えて観察するとむしろ逆に滑稽に見えてくることがあります。そこら辺りの機微を句にして楽しむ罪の無い悪戯心でしょうか。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

都吐夢 感覚的には、読み終えて一呼吸置いてから自然に「うふふ…」と笑いがこみあげてくるようなそんな可笑しさではないかと思っています。

編集部 滑稽俳句を続けて良かったことは？

都吐夢 滑稽俳句を考えていると、日常のストレスから一時でも逃れることが出来て気持ちに余裕が感じられることです。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

都吐夢 それ自体が既にユーモラスなものを題材として見つけることと、もう一つは物事を正面からだけでなく、横から斜めから下から後からと色々角度を変えて意地悪く(?)観察することかと思っています。

【代表句】

潮干狩り薄目あけたる獲物たち
海鞘食えぬ寿司屋の主三代目
どうにでもせよと秋蟬裏返り
宿六の飯は三回暮れ易し
聞き耳を立てて寒鯉聞かぬふり